平成18年 製品安全総点検週間 (11/20-26)

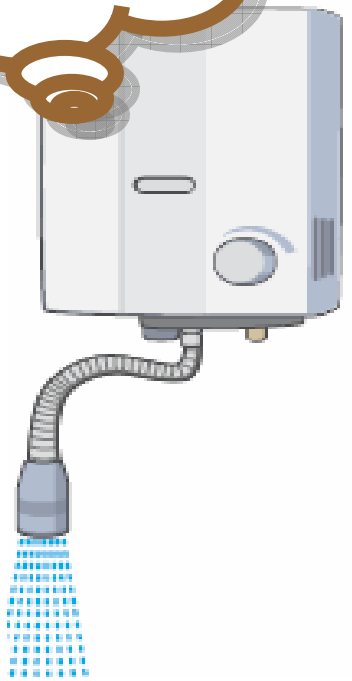
製品事故から身を守るために

漏電・発火や**一酸化炭素中毒**など、不幸な事故が起きています。
私たちの家に、あぶない製品はないでしょうか。
今年から始まった**製品安全総点検週間**
今回は、**電気用品、ガス用品**をとりあげます

ほこりがたまって漏電し発火したコンセント

リコール製品(無償改修等)には何がある?

十分に換気しないと一酸化炭素中毒の危険性



目次

	ページ
電気用品、ガス用品関係の事故例	2
リコール製品の例	4
電気用品の事故を防ぐ	6
ガス用品の事故を防ぐ	8
配線、ガス管の点検	10
その他の情報源	11
主催、協賛	12

電気用品、ガス用品関係の事故例 その1

・ガス瞬間湯沸器(半密閉式:屋内の空気を使ってガスを燃やしファンで屋外に排気する型)
一酸化炭素中毒が昭和60年から平成17年までに28件発生　パロマ工業㈱※
http://www.paloma.co.jp　0120－314－552

・煙突付きガスふろがま
一酸化炭素中毒が昭和60年から
平成17年までに109件発生

・ガス器具の排気筒の不良等
一酸化炭素中毒が昭和60年から
平成17年までに　71件発生

・電気式浴室換気乾燥暖房機☆
設置工事での電源線の
不適切な接続等で
平成13年から25件焼損

〈煙突付きガスふろがまや
ガス器具の排気筒の不良等の事故から
身を守るために役立つ事故原因の例〉

①煙突が外れていた、穴が空いていた
②煙突内が鳥の巣や異物で詰まっていた
③給気口がふさがっていた

・温水(ガス)式浴室暖房乾燥機☆
設置工事、点検・改修時の配線損傷、部品の異常等で、平成17年から6件の火災
改修後の機器にも火災が発生し、該当製品の使用中止を要請(4ページ参照)。

☆ 浴室(換気)乾燥暖房機の事故件数は、平成18年10月末現在

電気用品、ガス用品関係の事故例 その2

・シュレッダー
幼児が**指を切断**(平成18年、アイリスオーヤマ㈱、カール事務器㈱など) ※

・冷蔵庫
庫内にこぼれた食品の汁が機械内部に入り**発火**(平成17年等、富士通ゼネラル㈱) ※
http://www.fujitsu-general.com/jp/i_info/ref0606/index.html **0120ー623ー667**

・ヘアードライヤー
コンセントに差し込んで置いていたら**発火**(平成18年、九州日立マクセル㈱) ※
http://www.hitachi.co.jp/information/support_1023/index.html **0120ー121ー319**

・電気こんろ
使わないつもりで上に物を置いていた電気こんろの飛び出したつまみに
身体や物が当たって知らない間にスイッチが入り、**火災**が多発
下記の工業会関係者は、つまみが飛び出したスイッチ操作部の無償交換を実施※
（社）日本電機工業会(家電部)
http://www.jema-net.or.jp/Japanese/kaden/ka-h.htm
03ー3556ー5887
キッチン・バス工業会
http://www.kitchen-bath.jp/public/seizousekinin/mk22/mk102.html
03ー3436ー6453

※に記載の各社は、製品の無償改修などを実施

リコール製品の例 その1

ジェット噴流バス

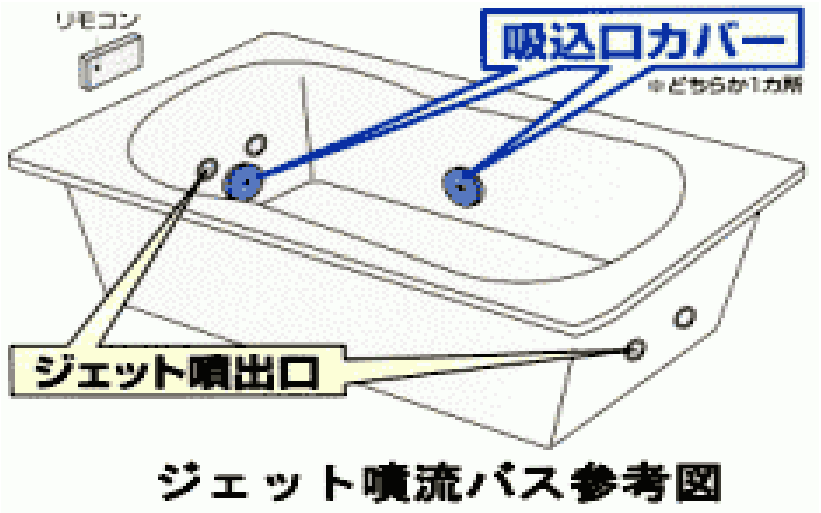
吸込み口に髪を引き込まれた状態で溺死

該当の型式は　無償で吸い込み口カバーを交換

問い合わせ先

ジェット噴流バス協議会　**029-833-1076**

http://www.alianet.org/yyk/index.html



ジェット噴流バス参考図

温水(ガス)式浴室暖房乾燥機

発火(2ページ参照)

該当の型式は、無償で改修

製造者　㈱ハーマンプロ　**0120-13-2587**

販売時のブランド　大阪ガス㈱　**0120-00-7573**、東京ガス㈱　**0120-520-585**、

㈱ノーリツ　**0120-13-2587**、㈱ハーマン　**0120-13-2587**

シェーバー(ひげ剃り)用充電器

充電中の発火多数

平成11年12月から平成12年4月までに製造した セイコーシェーバー・クリーンカット「ES1910」「ES1815」「ES1810」「ES1395」用の充電器について無償で製品交換

セイコーエスヤード㈱ **0120-120-643**

http://www.seiko-syd.co.jp/news/021002_i.html

リコール製品の例　その2

電気ストーブ(ハロゲンヒーター等)

発火やヒーター部の破損多数

該当の型式は無償で点検・修理、又は製品交換

○ハロゲンヒーター

- 型番**SD-80G**　大宇電子ジャパン　**0120-882-076**
- 型番**IR4650**　㈱アイアン　**0120-848-450**
- 型番**HG-800**　㈱山善　**0120-219-700**
- 型番**V-800ST**　ほか　㈱日本ビネガーボトラーズ　**0120-709-080**
- 型番**TS800-12**　ほか　東邦金属工業㈱　**0120-006-891**
- 型番**MK91**　明電工業㈱　**0120-663-056**
- 型番**NSH-800RI**　㈱メディア・プライス　**0120-807-272**

○ハロゲンヒーター以外

- 型番RY-1015B　ほか　三菱電機㈱　**0120-702-861**
- 型番**NC-WT900**　㈱山善　**0120-219-700**
- 型番**ST-M85**　ほか　松木技研㈱　**0120-223-715**
- 型番**CBH-D900、PH-970**　ほか　㈱山善　**0120-680-286**

ハロゲンヒーターの
発熱部分。
ここの高熱のガラスが
割れて飛び散った例も。

このほかにも、多くのリコール製品があります。
詳しくは、独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)のサイトで
http://www.jiko.nite.go.jp/index4.html

電気用品の事故を防ぐ その1

漏電や発火を防ぐために、自分でできること

プラグ、コード

見る→**ホコリ**がつもっている→コンセントからプラグを抜き乾いた布で取り除く

→重い物の下敷きになっている→物をどける

→束ねてある→伸ばす

→**変色、変形、深い傷**→使用中止

テレビ、洗濯機、冷蔵庫、エアコン等

臭いをかぐ→**焦げ臭い**→使用中止

扇風機、エアコン、照明等

耳をすます→**異常音**→発熱の恐れ→使用中止

扇風機等

電源を入れてみる→**動かない**→そのままにすると発煙の恐れ

→電源を切って使用中止

電子レンジ、オーブン、ヘアードライヤー等

通気口、吸気口がふさがっている→異常発熱の恐れ

→空気が十分通るようにする

電気用品の事故を防ぐ　その2

全般

手をかざす(触れると感電の危険あり)→**熱い**→使用中止

焦げたコンセント

水がかかる可能性を考える

(水分があると漏電の危険増大)

→上に花瓶が置いてある→花瓶をどける

→雨水がかかることがある→置き場所を変える

→除湿器の湯気等の水分が多い→置き場所を変える

取扱説明書の確認

プロに頼む点検

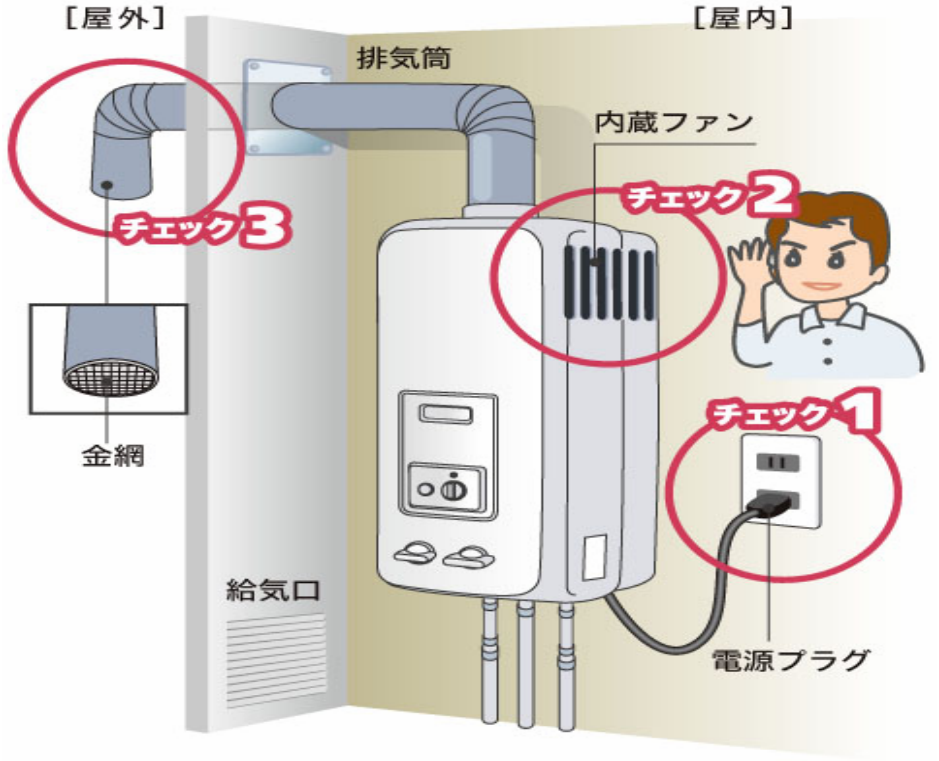
何年も使った機器の劣化で事故が起きたこともあります。
シーズン初めの暖房機など、プロによる点検が事故を防ぎます。
点検の料金などは、販売店や、メーカーのお客様相談窓口で確認できます。

詳しくは、（財）家電製品協会で。
http://www.aeha.or.jp/anzen/anzen.html

ガス用品の事故を防ぐ　その1

一酸化炭素中毒を防ぐために、自分でできること

屋内の空気を使ってガスを燃やしファンで屋外に排気する湯沸器は、



1.**コンセントにプラグ**が入っていること
2.給湯中、**ファンが回る音**がすること
3.**排気筒**が外れたり穴が空いたり詰まったり
出口の金網が外れたりしていないこと
を確認

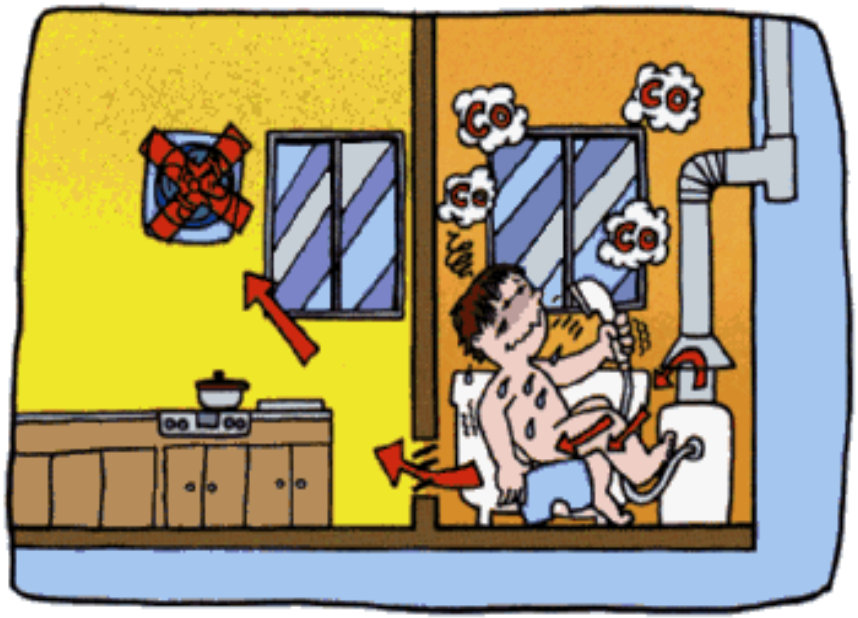
パロマ工業のこの型の瞬間湯沸器では、
機器の改造に加え、
コンセントが抜けて安全装置が作動せず、
一酸化炭素中毒事故が起こりました。

小型湯沸器を使う時は、**換気扇を回す等して換気する**必要があります。
長時間の使用はできません。
小型湯沸器にホースをつなぎ風呂やシャワーなどに使って、
一酸化炭素中毒事故が起きたことがあります。

ガス用品の事故を防ぐ その2

十分に換気しないで小型湯沸器、ガスストーブ、ガスこんろなどを使うと、一酸化炭素中毒になり、死亡したり脳に後遺症が残る危険があります。

ただし、屋内に設置された煙突式ふろがまで
おふろをわかしている時に隣の台所で換気扇を回すと、
ふろがまの排気が逆流して、
一酸化炭素中毒になるおそれがあります。



一酸化炭素は無色無臭で、
頭痛や吐き気で異変に気づいた時には
手足がしびれて動けない場合もありえます。
一酸化炭素ガス警報器(CO警報器)を設置すれば、
不完全燃焼を早期に知らせてくれます。
不完全燃焼防止装置付きの湯沸器や
屋外設置式の湯沸器も販売されています。

プロに頼む点検

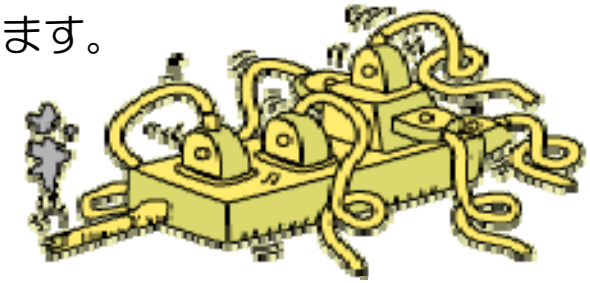
点検の料金などは、機器を買った販売店、都市ガス系列の販売店(たとえば東京ガスのエネスタなど)、
メーカーのお客様相談窓口などで確認できます。

メーカーのお客様相談窓口やガス用品の安全な使い方など、
詳しくは、（社）**日本ガス石油機器工業会**で。http://www.jgka.or.jp

配線、ガス管の点検

たこ足配線は火事のもとです。

コードをステープルや釘で固定すると、漏電、発熱を起こすことがあります。
各地の**電気保安協会**は、屋内配線の漏電検査(4年に1回)などの
安全点検や、電気安全の情報提供をしています。
詳しくは、（財）**関東電気保安協会**のサイトで
http://www.kdh.or.jp/kdh/index_2.htm



古くなったガス管はガス漏れのもとです。

家の敷地内のガス管は、都市ガスでは消費者の資産です。LPガスでは、メーターまでは事業者の資産ですが、それ以降は消費者の資産です。

ひび割れたゴム管や腐食したガス管は、取り替える必要があります。

ガス会社やLPガス販売店は、消費者の資産部分も含め、ガス管の安全点検を定期的に行っています。ガスの安全な使い方についての情報提供も行っています。

詳しくは、以下で。

（社）**日本ガス協会**　http://www.gas.or.jp/default.html
LPガス安全委員会　http://www.lpg.or.jp

電気やガスの点検を装った訪問販売など、悪質商法の被害が増えています。
電気事業法、ガス事業法などで事業者に義務づけられた定期的な**法定点検は無料**です。
悪質商法については、経済産業省のこちらのサイトに情報があります。
http://www.meti.go.jp/policy/consumer/index.html
自治体の消費者センターや、経済産業省の消費者相談窓口でも相談を受け付けています。

その他の情報源

・**消防庁**には、火災に関する情報などがあります。
http://www.fdma.go.jp

・**内閣府の国民生活局**には、消費者政策全般の情報があります。
http://www.consumer.go.jp

・**各地の自治体**の消費者関連サイト
たとえば**東京都**には、「くらしの安全情報サイト」や
http://www.anzen.metro.tokyo.jp
商品テストなどが掲載された「東京の消費生活」があります。
http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp

・**国民生活センター**には、商品テストや製品回収の情報があります。
http://www.kokusen.go.jp

・**（財）製品安全協会**は、独自の安全基準に合格した製品に**ＳＧマーク**を表示しています。
http://www.sg-mark.org/index.htm

・このほか、**経済産業省**には、
消費生活用製品安全法など、製品安全に関係する法律についての情報や
http://www.meti.go.jp/policy/consumer/seian/index.htm
原子力安全・保安院のサイトhttp://www.nisa.meti.go.jpの
消費者向けガス保安サイト**「あんしんでガス」**もあります。
http://www.nisa.meti.go.jp/9_citygas/anshindegas/index.htm

主催

経済産業省　　http://www.meti.go.jp
〒100-8901 東京都千代田区霞が関１－３－１

独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)　　http://www.nite.go.jp
本所　〒151-0066　東京都渋谷区西原２－４９－１０
生活・福祉技術センター　製品安全企画課
〒540-0008　大阪市中央区大手前４－１－６７
電話06-6942-1113

協賛

全国消費者団体連絡会、主婦連合会、全国地域婦人団体連絡協議会、
（財）日本消費者協会、（社）日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会、
日本生活協同組合連合会、全国大学生活協同組合連合会、（財）製品安全協会、
（財）家電製品協会、（社）日本ガス石油機器工業会、
電気事業連合会、（社）日本電気協会、電気保安協会全国連絡会議、
（社）日本ガス協会、（社）日本簡易ガス協会、ＬＰガス安全委員会、
キッチン・バス工業会、ガス警報器工業会、
（社）日本通信販売協会、（社）日本訪問販売協会
日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、（社）日本フランチャイズチェーン協会、
（社）日本ショッピングセンター協会、（社）日本ボランタリーチェーン協会
（社）日本セルフ・サービス協会、（社）全国スーパーマーケット協会、
（社）日本専門店協会、日本スーパーマーケット協会、日本小売業協会